⑥官民連携による日光地域の渋滞対策
～リアルタイム旅行時間表示システムの活用～

受賞機関　栃木県 県土整備部 交通政策課

キーワード　観光地の渋滞対策、官民連携、プローブデータ、旅行時間表示

全建賞審査委員会の評価ポイント

日光市内の交通渋滞緩和のため、プローブデータを活用した交通誘導方策。一般路と迂回路の旅行時間を算出し現地のLED版に表示させることで、迂回路誘導の事前周知を図る手法の新規性が高い点や、本事業の成果を全国に展開することで、全国の観光地等における観光客の旅行時間短縮が期待される点が評価された。

1. はじめに

栃木県日光市内では、GWや秋の行楽期に、世界遺産「日光の社寺」周辺の駐車場へ自家用車で向かう観光客等が集中し、周辺道路で著しい交通渋滞が発生しており、これまで国土交通省や日光市等と連携し、無料臨時駐車場の開設やパーク＆バスライド等の対策を実施してきた。

令和２年度は、プローブデータを活用した渋滞対策の実績がある本田技研工業株式会社と連携し「リアルタイム旅行時間表示システム」を用いて、効率的かつ効果的な渋滞緩和を図った。

2. 事業の概要

令和２年10月31日から11月８日の土日祝日の５日間に、Hondaインターナビのプローブデータを基に、インターナビ情報センターと連携したサーバーが算出した渋滞路と迂回路（臨時駐車場までのルート）の旅行時間を、現地のLED表示板に表示させる「リアルタイム旅行時間表示システム」を用いて、ドライバーに迂回を促し、交通分散を図った。

LED表示板は、一般道の路肩上に設置したほか、東北自動車道に接続し日光市街地へ連結する有料道路「日光宇都宮道路」にも設置することで、遠方からの観光客に対しても、迂回路誘導の事前周知を図った。

リアルタイム旅行時間表示システム

3. 事業の成果

１）渋滞路の渋滞長等について

神橋交差点を先頭とした国道119号の最大渋滞長は令和元年同時期の約3.7kmから約2.4kmと短くなり、また渋滞路の最大旅行時間（今市IC～日光IC～日光の社寺周辺駐車場）は、昨年同時期の134分から76分となり約１時間短縮した。

２）LED表示板の誘導の効果について

迂回路と渋滞路の旅行時間差の増減と迂回路を選択する割合が連動していることから、旅行時間差に応じた誘導の効果を確認することができた。

渋滞路での渋滞状況

臨時駐車場の利用状況

LED表示板の設置状況

目的地までの各経路について

4. おわりに

渋滞対策において、道路のバイパス事業等のハード対策の実施は大きなコストと長い年月を要する。一方で行楽シーズンなどに一時的に交通量が増加し、渋滞が発生する日光のような観光地では、行政による無料臨時駐車場の開設等のハード対策に、民間のノウハウを生かしたソフト対策を組み合わせることにより、短期間で効果的な渋滞対策が実現できることを再認識した。

日光地域における交通渋滞対策は、日光市だけでなく栃木県の更なる魅力向上のために必要不可欠であることから、今後とも地元関係者の理解を得ながら、官民連携により推進していきたい。